

## 森林管理総合情報整備提供事業（継続）

【平成19年度概算決定額 43,990（51,474）千円】

### 事業のポイント

新林業技術の情報システムの整備や効率的間伐推進のための支援ソフトの開発による林業技術の普及・定着を図る取組を支援します。

- ・ 地球温暖化防止等の森林の有する多面的機能の高度発揮を図るためには、複層林施業の普及や間伐の実施等により、多様で健全な森林整備を着実に進めることが必要。
- ・ 林産物収入の減少や採算性の悪化等により林業生産活動が停滞していることから、地域の実情に応じた森林施業や林業経営に係る知識と技術の広範な普及を通じて森林所有者の施業意欲を喚起することが必要。
- ・ 多様で健全な森林整備を推進するには、森林の有する多面的機能の高度発揮に必要な知識と技術を備えた人材を育成することが必要。

### 政策目標

効率的かつ安定的な林業経営を担い得る林業経営体・事業体数

2600（平成27年度）

### <内容>

#### 1 情報提供システムの整備

各地域において試験研究機関等で開発された新たな林業技術の普及・実用化を図るためのデータベースの検討・開発並びに新普及ネット検索システムの一本化及び整備を行います。

#### 2 間伐支援ソフト用データの収集

団地・流域単位で、森林の林地条件と人員、機械、路網の配置条件から間伐のコストシュミレーションを行い、低コストで効率的な間伐を支援するとともに、間伐に伴って発生する未利用材や土場残材の活用を支援するソフトの開発のためのデータ収集を行います。

### <補助率>

定額

### <事業実施主体>

民間団体

### <事業実施期間>

平成15年度～19年度（5年間）

[担当課：林野庁 研究・保全課]